

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公表番号】特表 2019-520470 (P2019-520470A)

【公表日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2019-520475 (P2019-520475)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/06 (2006.01)

C 0 8 K 9/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 67/06

C 0 8 K 9/04

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 27 日 (2020.3.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 9 0 】

特に好ましい第四級アルキル - アンモニウム塩は、一般式 (C 1 ~ 1 0 - アルキル) n (C 1 2 ~ 2 2 - アルキル) m (ベンジル) p N + X - (式中、n + m + p = 4 及び n = 1、2 又は 3、m = 1 又は 2、p = 0 又は 1 及び X - = ハロゲン化物、スルフェート、ニトレート、水酸化物、アセテート又はホスフェート、好ましくは、塩化物、臭化物又はメチルスルフェート) によって記載できる。特に好ましい第四級アルキル - アンモニウム塩として、塩化ジメチルジ (C 1 4 ~ 1 8 - アルキル) アンモニウム、塩化メチルベンジルジ (C 1 4 ~ 1 8 - アルキル) アンモニウム、塩化ジメチルベンジル (C 1 4 ~ 1 8 - アルキル) アンモニウム及び硫酸ジメチル (2 - エチルヘキシル) (C 1 4 ~ 1 8 - アルキル) アンモニウム、塩化トリメチル (C 1 4 ~ 1 8 - アルキル) アンモニウム及び好ましい選択の 2 種以上の混合物がある。上記の C 1 4 ~ 1 8 アルキル基は、好ましくは、水素化獣脂 - アルキル基 (a hydrogenated tallow-alkyl group) である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 9 1 】

塩化ベンジル - 二水素化獣脂 - メチルアンモニウム (benzyl-dihydrogenated tallow-methyl ammonium chloride) 及び塩化ジメチル - 二水素化獣脂アンモニウム (dimethyl-dihydrogenated tallow ammonium chloride) 及びそれらの混合物が最も好ましい。両者の混合物が使用される場合には、塩化ベンジル - 二水素化獣脂 - メチルアンモニウム 及び塩化ジメチル - 二水素化獣脂アンモニウム の総量に基づいて、60、70、75 又は 80 重量% のような 50 重量% 超の量で塩化ベンジル - 二水素化獣脂 - メチルアンモニウム を使用することがいっそう好ましい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0130】

それぞれ、乾燥セピオライト及び乾燥サポナイトベースを意味する乾燥ベースで、80%セピオライト及び20%サポナイトの比を含有する混合スラリーを調製する。任意の粘土スラリーの10gのサンプルの一般的な乾燥条件は：130 で90分と、それに続く、乾燥器中での室温への冷却である。混合物を60 に加熱し、渦が生じるように攪拌する。75重量%の塩化ベンジル - 二水素化 獣脂 - メチルアンモニウム (benzyl-dihydrogenated tallow-methyl ammonium chloride) 及び25重量%の塩化ジメチル - 二水素化 獣脂アンモニウム (dimethyl-dihydrogenated tallow ammonium chloride) の混合物の45mmol / 100g粘土を、混合物に添加して、30分間処理する。得られた材料を真空漏斗で濾過する。濾過ケーキを、60 の送風機オープン中で、およそ2～6%の水分の残存に達するように乾燥させる。次いで、0.2mmの篩を備えたプルベリセット (pulverisette) ミルで粉砕する。